



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL <http://www.showa-paxxs.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）大西 亮
 問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,495	7.1	585	43.3	624	33.9	418	36.3
27年3月期第2四半期	9,802	0.4	408	△13.8	466	△16.0	306	△17.7

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 306百万円（△28.2%） 27年3月期第2四半期 426百万円（△45.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	47.09	-
27年3月期第2四半期	34.53	-

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	22,727	12,275	52.3	1,337.27
27年3月期	22,283	12,025	52.2	1,310.77

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 11,876百万円 27年3月期 11,642百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	6.00	-	6.00	12.00
28年3月期	-	6.00	-	-	-
28年3月期（予想）	-	-	-	8.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	5.8	1,000	22.6	1,070	14.8	700	6.2	78.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 4「サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期2Q	8,900,000株	27年3月期	8,900,000株
28年3月期2Q	18,886株	27年3月期	17,886株
28年3月期2Q	8,881,521株	27年3月期2Q	8,883,284株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日～平成27年9月30日）における我が国経済は、企業収益は好調に推移しながらも、設備投資や消費の回復は緩慢であり、外需も中国経済の減速が資源価格の一段の低下、新興国全体の景気の変調につながって伸び悩み、全体として力強さに欠ける状況が続きました。

4～6月期の実質GDPは設備投資や個人消費の落ち込みでマイナス成長となり、7～9月期も国内の在庫調整の長期化、海外需給の悪化から輸出が弱含むなど鉱工業生産は引き続き弱い動きとなりました。労働需給のひっ迫から7月には実質賃金が前年比上昇に転じ、インバウンド需要の好調が下支えをして、大企業・非製造業の景況感は改善しましたが、国内景気は足踏みしていると見られます。

各業種、大企業と中小企業、大都市圏と地方圏により現在の景気は様々な様相を呈しており、今後もまだら模様、一進一退の状況が続くものと予測されます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であります。当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、グループ各社とも前年同期の業績を上回り、全体の売上高は10,495百万円で前年同期に比して692百万円の増収となりました。損益につきましては、営業利益585百万円（前年同期比176百万円の増益）、経常利益624百万円（同158百万円の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益418百万円（同111百万円の増益）となりました。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

セグメントの業績を示すと以下の通りであります。

①重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第2四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期比+0.1%とほぼ横ばいでした。ただ、前年は第1四半期連結会計期間に消費増税前駆け込み需要の反動による落ち込みがあったことを踏まえると、実質的には減少していることになります。合成樹脂や、米麦、製粉、砂糖・甘味、その他食品等の用途が増加しましたが、セメント、飼料、農水産物用途等は減少しました。原材料である原紙が平成27年1～3月期から値上がりし、当第2四半期連結累計期間で製品への価格転嫁を進めましたが、十分な転嫁ができなかった部分が残りました。

当社の売上数量は前年同期比+4.7%であり、業界全体よりも大きく増加しました。合成樹脂、化学薬品、米麦、その他食品用途が増加、一方で砂糖・甘味、その他鉱産物用途は減少しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は九州地区の作況が芳しくなかった米麦袋は減少しましたが、積極的な営業で一般袋の受注を増やし、前年同期比+3.1%でした。タイ昭和パックス㈱の当第2四半期連結累計期間（1～6月）は、タイの経済成長率の鈍化がありましたが、前年後半以来の出荷数量を維持し、売上数量は前年同期と比べて14.9%増加しました。山陰製袋工業㈱の当第2四半期連結累計期間（1～6月）の売上数量は第1四半期連結会計期間の遅れを当第2四半期連結会計期間で取り返して前年同期比で+0.7%と、前年並みの結果でした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は6,841百万円で、前年同期に対し8.5%の増収となりました。

②フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第2四半期連結累計期間の出荷量は、産業用はほぼ前年並み、農業用は前年は4～6月期に消費増税後の反動で大きく減少したため、前年同期との比較では増加しました。主原材料であるポリエチレン樹脂、ポリスチレン樹脂価格は原油価格の下落を受け、平成27年1～3月期以降値下がりした状態が続きました。

当社の売上数量は、農業用は若干増加しましたが産業用を大きく減らし、合計では前年同期比△6.4%と量的には振るいませんでした。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,755百万円で、前年同期に対して4.0%の減収となりました。

③コンテナー

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、国内生産品では除染用途が海外生産品に移行して大きく数量を落としたほか、窯業土木用途も減少しました。海外からの輸入数量は第2四半期に入って前年並みに戻りましたが累計では前年同期から大きく減少しています。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、自社製品、輸入販売品いずれも増加し、全体では前年同期比+15.9%でした。大型コンテナーバッグ「バルコン」は減少しました。液体輸送用では、1000ℓ内袋「エスキューブ」は数量を増やし、液体輸送用コンテナーライナー「エスタンク」も前年の不振から一部挽回しました。

当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は1,002百万円で、前年同期に対して11.5%の増収となりました。

④不動産賃貸

賃貸用不動産及び賃貸契約内容に大きな変動はありません。当セグメントの当第2四半期連結累計期間売上高は前年同期から1百万円減少し130百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末総資産は22,727百万円で、前連結会計年度末に比べて444百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金673百万円、電子記録債権70百万円、有形固定資産41百万円、主な減少要因は投資有価証券172百万円、原材料及び貯蔵品77百万円、商品及び製品72百万円です。

(負債)

負債合計は10,452百万円で、前連結会計年度末に比べて194百万円増加しました。主な増加要因は電子記録債務590百万円、営業外電子記録債務123百万円、主な減少要因は支払手形及び買掛金349百万円、短期借入金186百万円です。

(純資産)

純資産合計は12,275百万円で、前連結会計年度末に比べて249百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益418百万円及び剰余金の配当53百万円、その他有価証券評価差額金の減少127百万円等によりま

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて674百万円増加して4,328百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,054百万円（前年同期比117百万円の収入増）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純利益で622百万円、減価償却費で309百万円、たな卸資産の減少で133百万円、仕入債務の増加で184百万円、法人税等の支払で△95百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は131百万円（同226百万円の支出減）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出123百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は244百万円（同173百万円の支出増）です。主な内訳は短期・長期借入金の返済で184百万円、配当金の支払による支出53百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期に比べると増収増益の結果となりました。我が国景気の回復はまだら模様で停滞感が出ており、海外景気も中国をはじめとする新興国の成長が鈍化するなど不安要因が強まっていますが、引き続きグループ全体で売上と利益の拡大に注力してまいります。

当連結会計年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）通期の業績見通しにつきましては、当初の予想（平成27年5月13日発表）を変更せず、連結売上高21,000百万円、連結経常利益1,070百万円、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円を見込みます。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,966,091	4,639,497
受取手形及び売掛金	6,064,473	6,040,868
電子記録債権	60,737	130,759
商品及び製品	1,251,116	1,178,463
仕掛品	100,522	109,882
原材料及び貯蔵品	1,112,590	1,035,118
繰延税金資産	145,574	145,502
その他	307,981	319,342
貸倒引当金	△15,151	△14,228
流動資産合計	12,993,935	13,585,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,266,327	7,308,930
減価償却累計額	△5,004,385	△5,095,233
建物及び構築物（純額）	2,261,941	2,213,697
機械装置及び運搬具	9,202,671	9,430,358
減価償却累計額	△7,565,282	△7,718,476
機械装置及び運搬具（純額）	1,637,389	1,711,882
土地	895,260	892,826
リース資産	39,592	35,316
減価償却累計額	△22,402	△20,102
リース資産（純額）	17,190	15,213
建設仮勘定	42,264	51,764
その他	721,375	740,762
減価償却累計額	△632,275	△641,946
その他（純額）	89,100	98,815
有形固定資産合計	4,943,146	4,984,200
無形固定資産		
ソフトウェア	83,303	68,623
電話加入権	9,230	9,230
無形固定資産合計	92,533	77,853
投資その他の資産		
投資有価証券	3,655,656	3,483,544
退職給付に係る資産	425,569	454,004
繰延税金資産	43,186	44,273
その他	138,357	109,033
貸倒引当金	△8,996	△10,455
投資その他の資産合計	4,253,774	4,080,400
固定資産合計	9,289,454	9,142,455
資産合計	22,283,390	22,727,660

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,789,304	3,439,531
電子記録債務	634,654	1,225,262
短期借入金	3,051,960	2,865,800
リース債務	4,924	4,834
未払法人税等	134,688	213,785
繰延税金負債	4,987	137
賞与引当金	295,963	316,789
役員賞与引当金	22,226	20,400
設備関係支払手形	9,649	8,663
営業外電子記録債務	4,825	128,618
その他	702,158	777,571
流動負債合計	8,655,343	9,001,394
固定負債		
長期借入金	159,000	151,000
リース債務	9,669	7,251
繰延税金負債	770,314	730,728
役員退職慰労引当金	170,671	87,547
環境対策引当金	14,005	14,005
退職給付に係る負債	285,165	273,931
資産除去債務	6,987	6,995
長期預り保証金	186,265	179,197
固定負債合計	1,602,078	1,450,658
負債合計	10,257,421	10,452,052
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	9,426,037	9,790,953
自己株式	△8,316	△8,870
株主資本合計	10,348,067	10,712,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,182,417	1,055,072
為替換算調整勘定	254,707	234,868
退職給付に係る調整累計額	△142,811	△125,959
その他の包括利益累計額合計	1,294,313	1,163,981
非支配株主持分	383,588	399,196
純資産合計	12,025,968	12,275,608
負債純資産合計	22,283,390	22,727,660

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	9,802,864	10,495,317
売上原価	8,134,191	8,618,732
売上総利益	1,668,673	1,876,585
販売費及び一般管理費	1,260,265	1,291,371
営業利益	408,407	585,213
営業外収益		
受取利息	2,253	3,266
受取配当金	38,047	40,939
負ののれん償却額	28,498	-
為替差益	2,622	4,922
その他	12,953	8,480
営業外収益合計	84,375	57,608
営業外費用		
支払利息	25,977	18,043
その他	492	332
営業外費用合計	26,469	18,375
経常利益	466,313	624,446
特別利益		
投資有価証券売却益	357	-
特別利益合計	357	-
特別損失		
固定資産除却損	643	1,930
特別損失合計	643	1,930
税金等調整前四半期純利益	466,026	622,515
法人税、住民税及び事業税	145,690	184,594
法人税等調整額	1,765	△500
法人税等合計	147,456	184,093
四半期純利益	318,570	438,422
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,842	20,212
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,727	418,209

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
四半期純利益	318,570	438,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,609	△126,749
為替換算調整勘定	△36,006	△22,043
退職給付に係る調整額	15,420	16,852
その他の包括利益合計	108,023	△131,941
四半期包括利益	426,593	306,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	418,262	287,877
非支配株主に係る四半期包括利益	8,330	18,603

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	466,026	622,515
減価償却費	311,954	309,084
負ののれん償却額	△28,498	-
長期前払費用償却額	397	416
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△110	624
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,147	20,826
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	660	△1,826
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25,840	△11,138
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△42,117	△28,435
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,511	△83,123
受取利息及び受取配当金	△40,300	△44,205
支払利息	25,977	18,043
固定資産除却損	643	1,330
固定資産売却損益 (△は益)	△357	-
売上債権の増減額 (△は増加)	130,260	△53,984
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△97,661	133,513
仕入債務の増減額 (△は減少)	196,304	184,468
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	-	24,892
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△7,617	△10,149
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	145,805	24,916
その他	6,989	20,386
小計	1,091,560	1,128,154
利息及び配当金の受取額	40,300	44,205
利息の支払額	△23,746	△22,204
法人税等の支払額	△171,314	△95,682
営業活動によるキャッシュ・フロー	936,800	1,054,472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△292,401	△231,251
定期預金の払戻による収入	292,360	231,231
有形固定資産の取得による支出	△278,237	△123,462
無形固定資産の取得による支出	△33,810	-
有形固定資産の売却による収入	451	-
投資有価証券の取得による支出	△46,290	△7,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△357,928	△131,146

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,000	△176,760
リース債務の返済による支出	△3,218	△2,507
長期借入金の返済による支出	△8,000	△8,000
自己株式の取得による支出	△177	△554
配当金の支払額	△53,300	△53,292
非支配株主への配当金の支払額	△2,870	△2,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,565	△244,109
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,684	△4,722
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	500,621	674,494
現金及び現金同等物の期首残高	3,693,050	3,653,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,193,671	4,328,021

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,306,591	1,828,291	899,499	131,978	9,166,360	636,503	9,802,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,306,591	1,828,291	899,499	131,978	9,166,360	636,503	9,802,864
セグメント利益又は損失(△)	450,284	32,753	△9,407	76,232	549,863	56,512	606,376

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	549,863
「その他」の区分の利益	56,512
全社費用(注)	△197,968
四半期連結損益計算書の営業利益	408,407

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,841,028	1,755,133	1,002,913	130,103	9,729,178	766,138	10,495,317
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	6,841,028	1,755,133	1,002,913	130,103	9,729,178	766,138	10,495,317
セグメント利益又は損失(△)	576,730	73,493	△6,744	78,654	722,132	55,830	777,963

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	722,132
「その他」の区分の利益	55,830
全社費用(注)	△192,749
四半期連結損益計算書の営業利益	585,213

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。